# ２０１６
# アベリストウイス大学サマースクール留学事業
# 報　告　書

（2016. 8. 1～8. 12）
（2016. 8. 15～9. 9）

与　謝　野　町

# 目　　次

〇交流のあゆみ
交流のあゆみ　・・・・・１
フランク・エバンス氏と与謝野町　・・・・・３
アベリスツイス大学と与謝野町　・・・・・４

〇アベリスツイスの紹介　・・・・・５

〇アベリスツイス大学の紹介　・・・・・６

〇２０１６年アベリスツイス大学サマースクール留学事業日程概要　・・・７

〇研修報告書
植田　悠太郎　・・・・・９
糸井　萌里美　・・・・１１
井上　聖羅　・・・・２４

# 交流のあゆみ

| 日　　程 | 内　　容 |
|---|---|
| 昭和59年11月13日<br>～11月　日 | フランクエバンス氏が加悦町を訪問<br>大江山運動公園に平和を願う慰霊碑を建立（11月20日除幕式） |
| 昭和60年6月6日<br>～6月13日 | 細井拓一加悦町長・西原正二議会議長アベリスツイス訪問 |
| 昭和61年12月 | 両町の交流を記念してアベリスツイスの木「キングサリ」を大江山運動公園に植樹 |
| 昭和62年12月 | フランクエバンス氏加悦町を再度訪問し両町友好の推進を誓う。 |
| | アベリスツイス、タウンホール前に加悦町から贈った桜の木を交流の記念として植樹 |
| 平成元年3月 | ウェールズ大学国際センター所長ジェフリー･ブラウン氏加悦町訪問 |
| | ウェールズ大学アベリスツイス校への町民語学研修生派遣の道が開かれる。 |
| 平成2年6月28日<br>～9月12日 | ウェールズ大学アベリスツイス校に町民語学研修生２名を派遣 |
| 平成3年8月27日<br>～9月20日 | ウェールズ大学アベリスツイス校に町民語学研修生２名を派遣 |
| 平成4年7月1日<br>～7月10日 | アベリスツイス･ペンウェディグスクールの生徒２名をホームステイで１２日間受け入れる。 |
| 平成5年11月3日<br>～11月11日 | 小西英雄助役を団長に町内高校生８名がアベリスツイス訪問<br>ホームスティで８日間滞在 |
| 平成6年8月21日<br>～9月2日 | アベリスツイス・ペンウェディグスクールの生徒２名をホームスティで１２日間受け入れる |
| 平成7年10月28日<br>～11月10日 | 町内高校生５名アベリスツイス訪問、ホームスティで１０日間滞在、ロンドン３日間<br>両町の交流を深める。 |
| 平成8年7月8日 | 民間レベルの交流を推進するため、加悦アベリスツイス友好協会が設立される。 |
| 平成８年7月14日<br>～7月28日 | アベリスツイスペンウェディグスクールの生徒８名、教師１名を１４日間受け入れる。 |
| 平成9年3月30 日 | 外務省の招聘を受け来日したアベリスツイス在住のグウィン・デービス氏とドナルド・グリフィス氏が加悦町を訪問<br>旧大江山ニッケル鉱山跡や大江山運動公園の平和友好の碑を見学 |
| 平成9年10月29日<br>～11月12日 | 町内の高校生５名が、アベリスツイスを訪問し、ホームスティで滞在した<br>ペンウェディグスクール高校生との交流やアベリスツイスの教育･歴史・文化施設などの見学を行い、ウェールズに対する理解を深めた |
| 平成10年10月20日<br>～10月30日 | アベリスツイス高校生３名、アベリスツイス加悦友好協会会長、友好協会会員の２名が１１日間の日程で加悦町を訪問し、ホームスティにより交流を深めた。 |
| 平成11年2月9日<br>～2月15日 | 加悦アベリスツイス友好協会が７日間の日程で、６名の社会人訪問団を派遣 |
| 平成11年10月28日<br>～11月9日 | 町内高校生５名を１２日間の日程でアベリスツイスへ派遣 |
| 平成12年10月22日<br>～11月4日 | アベリスツイス高校生６名と先生１名が１４日間の日程で加悦町を訪問し、ホームスティにより交流を深めた。 |
| 平成13年 | アベリスツイスへの高校生訪問団派遣をアメリカ同時多発テロ事件のため中止 |
| 平成14年10月27日<br>～11月8日 | 町内高校生５名を１３日間の日程でアベリスツイスへ派遣 |
| 平成15年10月24日<br>～11月5日 | アベリスツイスの教師と高校生６名が１３日間の日程で、ホームステイにより滞在。ホストファミリー、高校生、町内の園児、小中学生をはじめとして町民との交流を行った。 |
| 平成16年8月 | ペングライス高校の生徒1名をホームステイにより受け入れた。 |
| 平成16年10月30日<br>～11月11日 | 町内高校生６名を１３日間の日程でアベリスツイスへ派遣 |

# 交流のあゆみ

| 日　　程 | 内　　容 |
|---|---|
| 平成17年10月20日<br>～11月1日 | アベリスツイス高校生６名と先生１名、随行１名が１３日間の日程で、ホームスティにより交流を深めた。 |
| 平成18年10月27日<br>～11月8日 | 太田貴美与謝野町長を団長に、町内高校生６名を１３日間の日程でアベリスツイスへ派遣与謝野町としての交流を記念し、町の木「椿」の苗木を植樹 |
| 平成19年10月25日<br>～11月7日 | アベリスツイスの教師と高校生６名が１４日間の日程で、ホームステイにより滞在。与謝野町になって初めての交流で、ホストファミリー、保育所、小中学校、見学施設など与謝野町全域に拡大し、多くの町民と交流を深めた。 |
| 平成20年10月29日<br>～11月9日 | 町内高校生６名を１２日間の日程でアベリスツイスへ派遣 |
| 平成21年10月21日<br>～10月29日 | アベリスツイス高校生６名と随行2名が9日間の日程で、ホームスティによりにより滞在。ホストファミリー、高校生、町内の園児、小中学生をはじめとして町民との交流を行った。 |
| 平成22年11月2日<br>～11月13日 | 町内高校生６名を１２日間の日程でアベリスツイスへ派遣 |
| 平成23年10月19日<br>～10月26日 | アベリスツイス高校生7名と随行1名が9日間の日程で、ホームスティによりにより滞在。ホストファミリー、高校生、町内の園児、小中学生をはじめとして町民との交流を行った。 |
| 平成24年11月3日<br>～11月14日 | 町内高校生６名を１２日間の日程でアベリスツイスへ派遣 |
| 平成25年10月25日<br>～11月5日 | アベリスツイス高校生5名と随行1名が12日間の日程で、ホームスティによりにより滞在。ホストファミリー、高校生、町内の園児、小中学生をはじめとして町民との交流を行った。 |
| 平成26年7月5日<br>～7月16日 | 山添藤真与謝野町長を団長に、町内高校生６名を１２日間の日程でアベリスツイスへ派遣新たな交流を目指し産業・大学研究施設を視察するとともに、地方政府や大学関係者と接触 |
| 平成27年2月23日 | 与謝野町・アベリスツイス大学間の包括協定を締結 |
| 平成27年７月24日<br>～8月9日 | 与謝野町民3名がアベリスツイス大学サマースクール留学事業に参加 |
| 平成27年8月24日<br>～9月4日 | 与謝野町民1名がアベリスツイス大学サマースクール留学事業に参加 |
| 平成27年11月9日<br>～11月10日 | アベリスツイス大学職員2名が与謝野町を視察 |
| 平成28年1月２１日<br>～1月３０日 | アベリスツイス大学から8名の学生と随行教員1名が９日間の日程で、学生はホームステイにより滞在。ホストファミリー、高校生、町内の園児、小中学生をはじめとして町民との交流、織物事業所や染色体験など町の基幹産業を見学し最終日には報告会を開催した。 |
| 平成28年8月1日<br>～8月12日 | 与謝野町民1名がアベリスツイス大学サマースクール留学事業に参加 |
| 平成28年8月15日<br>～9月9日 | 与謝野町民2名がアベリスツイス大学サマースクール留学事業に参加 |

## フランク・エバンス氏と与謝野町

**ーフランク・エバンス(Frank Evans)ー**

1917 年 5 月 23 日、Cribyn Lampeter(ウェールズ)に生まれ、第 2 次世界大戦中、軍人として香港で兵役に就いていた 1941 年、日本軍の捕虜となり、1943 年に日本に送られ、鉱山での労働を強いられました。1945 年、終戦と同時に帰国、40 年が過ぎた 1981 年、香港を訪れた帰国時の飛行機内で日本人女性鬼頭さんと知り合い、鬼頭さんの力を借りながら、ついに京都大江山のニッケル鉱山跡にたどりつく。

晩年は、旧加悦町とアベリスツイスの交流推進に力を注ぎ、多くの人から愛され親しまれました。

1996 年 11 月 6 日亡くなる。享年 79 歳。

**ーメッセージー**

著書「ROOL CALL AT OEYAMA」大江山の点呼
Sakura Peace Message By Frank Evans
(桜の平和メッセージ フランク・エバンス)
Consider our blossoms which are beautiful in life and death.Never again let us and human beings die in an ugly holocaust but, Instead, allow us all to live and die naturally in perfect peace for ever more.
(咲いているときも、散った後も美しい桜。二度と再び人間が、無残に命を失うことのないように。そして全ての人間が平和の内に生をまっとうできますように。)

**ー交流のきっかけー**

旧加悦町とアベリスツイスの交流は、第二次世界大戦時に旧大江山ニッケル鉱山での戦争捕虜体験を持つ故フランク・エバンス氏が、鉱山で死んだ戦友の記念碑の除幕式のために、昭和 59 年に加悦町を訪問したのをきっかけに始まりました。故フランク・エバンス氏は、加悦町との交流の推進に取組み、友好の絆を結ぶ礎を築きました。

**ー高校生相互派遣交流からアベリスツイス大学との連携へー**

平成 4 年から、友好の架け橋として未来ある高校生の相互派遣交流を進め毎年度受け入れと派遣を行い、年々交流が深まっています。
与謝野町とアベリスツイスの高校生交流は、双方の友好協会などの交流事業関係者が参加をし、ホームステイや体験を通じてお互いの国の歴史・文化・生活・習慣などを理解することができる貴重な機会となり、両町の交流推進の大きな柱となっています。
今サマースクール事業はこの高校生相互派遣交流事業がきっかけとなり実現しました。

## アベリスツイス大学と与謝野町

### ―アベリスツイス大学―

アベリスツイス大学は英国ウェールズのアベリスツイスに位置する大学で、1872 年にウェールズ大学アベリスツイス校として設立されました。現在では芸術、社会科学及び化学のアベリスツイス大学の主要学部だけでも 7,500 人以上の学生が在籍しています。

### ―交流のきっかけ―

平成 26 年 7 月に山添藤真与謝野町長は高校生相互交流派遣事業の参加者と共にアベリスツイスを訪れ、与謝野町とアベリスツイス大学の連携についてアベリスツイス大学関係者と話し合いました。アベリスツイス大学関係者は故フランク・エバンス氏がもたらした与謝野町とアベリスツイスの 20 年以上にも及ぶ高校生相互派遣事業に感銘を受け、フランク・エバンス奨学金の設立及びその他連携協定の締結を提案しました。アベリスツイス大学と与謝野町は帰国後も事務協議を続け、平成 26 年 3 月には包括協定を締結し、平成 27 年 9 月には連携事業を決定しました。

### ―アベリスツイス大学サマースクール留学事業―

英国ウェールズのアベリスツイス大学（Aberystwyth University）で開講されるサマースクール（English and Communicative Skills Course）は、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指すプログラムで、教室での少人数（最大 16 人）による授業に加え、キャンパス外での社会的プログラム（Social Interest）も含まれています。与謝野町とアベリスツイス大学間で締結された協定書により、与謝野町からの参加者は授業料が 15％減免となります。2 年目の派遣となる平成 28 年度の募集は下記 5 コースからの選択でした。

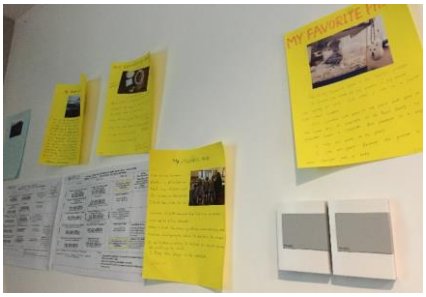
| コース | 日程 | 受講料（割引後） |
|---|---|---|
| CS1 | ７月　４日（月）～　７月１５日（金） | ３８２．５ポンド |
| CS2 | ７月１８日（月）～　７月２９日（金） | ３８２．５ポンド |
| CS3 | ８月　１日（月）～　８月１２日（金） | ３８２．５ポンド |
| CS4 | ８月１５日（月）～　８月２６日（金） | ３８２．５ポンド |
| CS5 | ８月２９日（月）～　９月　９日（金） | ３８２．５ポンド |

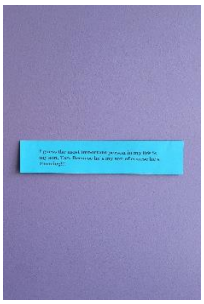
## ―アベリスツイス（Aberystwyth）―

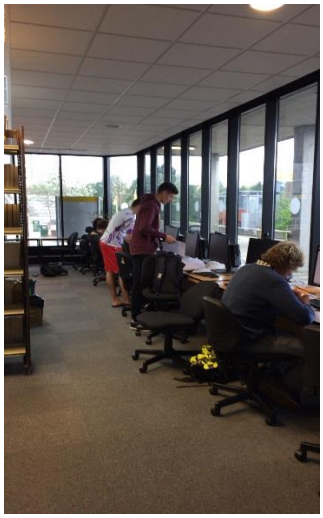
イギリスのロンドンから西へ列車で約6時間のカーディガン湾に面した人口約12,000人の町です。
主な産業は農業(牧畜)、商業、観光業で、ウェールズ大学アベリスツイス校、国立図書館など文教施設があることから学生が多く、世界各国からの留学生も多いところです。
レンガ造りの家並みと田園、美しい海岸が印象的な美しい町で、観光地として人気が高く、夏は避暑を楽しむ多くの観光客で賑わいます。
ウェールズの歴史と文化を誇りにし、ウェールズ語を多くの人が話し、町のサインも英語とウェールズ語が併記してあります。陽気で歌の好きな親切な人々が多いです

## ―アベリスツイス大学（Aberystwyth University）―

アベリスツイスの町の北東部に位置します。
学部での勉強だけでなく、毎年開講しているサマースクールにも世界各国から留学生が英語を学びに来ており、他国からの留学生とも交流できます。
また、学内には学生寮、図書館、スポーツセンター、アートセンターなどが併設されています。







## アベリスツイス大学サマースクール事業日程概要
## （2016.8.1～8.12）

| 月　日 | | 事　　項 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 5月17日 | 火 | 募集開始 | 広報よさのお知らせ版、与謝野町ホームページ、文字放送、データ放送にて順次募集 |
| 7月29日 | 金 | 与謝野町を出発 | |
| | | 関西国際空港からDUBAI国際空港へ | |
| | | DUBAI空港で乗り換え | in DUBAI |
| 7月30日 | 土 | DUBAI空港からBIRMINGHAM空港へ | |
| | | BIRMINGHAM空港から電車でABERYSTWYTHへ | |
| | | ABERYSTWYTH到着 | Aberystwyth Universityの学生寮へ入寮 |
| 7月31日 | 日 | 自由行動 | アベリスツイス観光 |
| 8月1日<br>～<br>8月12日 | 月<br><br>金 | Summer School | |
| 8月13日 | 土 | 学生寮を退寮 | |
| | | ABERYSTWYTH駅から電車でBIRMINGHAM空港へ | |
| | | BIRMINGHAM空港からDUBAI空港へ | |
| 8月14日 | 日 | DUBAI空港から関西国際空港へ | |
| | | 与謝野町に帰着 | |

## アベリスツイス大学サマースクール事業日程概要
## （2016.8.15～9.9）

| 月　日 | | 事　　項 | 内　　容 |
|---|---|---|---|
| 5月17日 | 火 | 募集開始 | 広報よさのお知らせ版、与謝野町ホームページ、文字放送、データ放送にて順次募集 |
| 8月12日 | 金 | 与謝野町を出発 | |
| | | 関西国際空港着 | 飛行機の都合により関西空港で待機 |
| 8月13日 | 土 | 関西国際空港 | 飛行機の都合により関西空港で待機 |
| 8月14日 | 日 | 関西国際空港からDUBAI国際空港へ | |
| | | DUBAI空港で乗り換え | |
| | | DUBAI空港からBIRMINGHAM空港へ | in BIRMINGHAM |
| 8月15日 | 月 | BIRMINGHAM空港から電車でABERYSTWYTHへ | |
| | | ABERYSTWYTH到着 | Aberystwyth Universityの学生寮へ入寮 |
| 8月16日<br>～<br>9月9日 | 火<br><br>金 | Summer School | |
| 9月10日 | 土 | 学生寮を退寮 | |
| | | ABERYSTWYTH駅から電車でBIRMINGHAM空港へ | |
| | | BIRMINGHAM空港からDUBAI空港へ | |
| 9月11日 | 日 | DUBAI空港から関西国際空港へ | |
| | | 与謝野町に帰着 | |

# サマースクール時間割（2016.8.1～2016.8.12）

PRIFYSGOL ABERYSTWYTH UNIVERSITY

**Timetable: General English: Summer 2016**

**CS3 Week 1 1-5 August Theme for CS3 – The Environment: The Good, The Bad & The Ugly**

| | 9.00 ~ 10:30 | BREAK | 11.00 ~ 12:30 | LUNCH | 2 00~ 4:30 | Social Program |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Monday | Weekend Roundup – journal writing/sharing<br>*Speaking/Listening/writing focus*<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | Placement testing new arrivals<br>Jan, Clare, Paul – C64 Llandinam<br>*Integrated skills work*<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | 2.00-3.30 New arrivals campus tour<br>Optional lecture | Welcome Evening<br>6.30 – 10pm at the Student Union Cwtch Bar<br>Meet other IEC students from around the world & enjoy a coffee, drink, snacks and games |
| Tuesday | Getting to know you activities<br>*Speaking/Listening focus*<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | *Reading activity/library visit/language lab visit etc.*<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | Special Interest Class<br>Maggie IBERS 0.31<br>Gosia – IBERS 0.32<br>Clare – B20 Llandinam<br>Paul - B22 Llandinam | |
| Wednesday | Course book or targeted language materials and activities<br>Vocabulary/pronunciation focus<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | Journal writing<br>*Integrated skills lesson*<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | Trip to Llanerchaeron stately home<br>Meet – campus Reception 2.15 | |
| Thursday | Course book or targeted language materials and activities - *Listening focus*<br>Purple - Clare – IBERS 0.31<br>Blue – Maggie - B20 Llandinam<br>Red – Gosia – B22 Llandinam<br>Green - Paul – IBERS 0.32 | | Super Communicative Project Work<br>Purple - Clare – IBERS 0.31<br>Blue – Maggie - B20 Llandinam<br>Red – Gosia – B22 Llandinam<br>Green - Paul – IBERS 0.32 | | Special Interest Class<br>Maggie IBERS 0.31<br>Gosia – IBERS 0.32<br>Clare – B20 Llandinam<br>Paul - B22 Llandinam | An Evening at the Sports Centre<br>Come & play basketball & badminton or just come and watch your friends being energetic! Meet – Campus Reception 6.30 |
| Friday | Course book or targeted language materials and activities - *Speaking focus*<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | Project presentations<br>*Integrated skills lesson*<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | Remember to write up about your experiences in your journal over the weekend to share in class on Monday. Make a note of any new English words phrases or strange habits to tell your classmates and teachers about Don't leave your English in the classroom!!!!! | Saturday Trip – Shrewsbury<br>Meet at Campus Reception at 7.45. You can catch up on your sleep on the bus! |

**Email:** Jan jah106@aber.ac.uk Maggie mnd@aber.ac.uk Gosia – mar62@aber.ac.uk Paul: pac36@aber.ac.uk Clare: cmb14@aber.ac.uk

**Notes:**

- This timetable is a guide only. Your teacher may need to change the structure to suit your needs.

PRIFYSGOL ABERYSTWYTH UNIVERSITY

**Timetable: General English: Summer 2016**

**CS3 Week 2 8 - 12 August Theme for CS3 – The Environment: The Good, The Bad & The Ugly**

| | 9.00 ~ 10:30 | BREAK | 11.00 ~ 12:30 | LUNCH | 2 00~ 4:30 | Social Program |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Monday | Weekend Roundup – journal writing/sharing<br>*Speaking/Listening/writing focus*<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | *Integrated skills work*<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Jan – IBERS 0.32 | | Optional lecture by Naomi Salmpon, Law Dept:<br>Food Adulteration C64 2.00pm<br>Self-study – Language Lab/Library/group homework etc. | BBQ on the Beach<br>(weather permitting) |
| Tuesday | Course book or targeted language materials and activities - Speaking/*Listening focus*<br>Purple - Clare – IBERS 0.31<br>Blue – Maggie - B20 Llandinam<br>Red – Gosia – B22 Llandinam<br>Green - Paul – IBERS 0.32 | | Super Communicative Project Work<br>Purple - Clare – IBERS 0.31<br>Blue – Maggie - B20 Llandinam<br>Red – Gosia – B22 Llandinam<br>Green - Paul – IBERS 0.32 | | Special Interest Class<br>Maggie IBERS 0.31<br>Gosia – IBERS 0.32<br>Clare – B20 Llandinam<br>Paul - B22 Llandinam | |
| Wednesday | Course book or targeted language materials and activities<br>Vocabulary/pronunciation focus<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | Journal writing<br>*Integrated skills lesson*<br>Purple - Jan – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | Trip to Nant Y Arian<br> <br>See the beautiful Red Kites at feeding time | |
| Thursday | Course book or targeted language materials and activities - *Listening focus*<br>Purple - Clare – IBERS 0.31<br>Blue – Maggie - B20 Llandinam<br>Red – Gosia – B22 Llandinam<br>Green - Paul – IBERS 0.32 | | Super Communicative Project Work<br>Purple - Clare – IBERS 0.31<br>Blue – Maggie - B20 Llandinam<br>Red – Gosia – B22 Llandinam<br>Green - Paul – IBERS 0.32 | | Special Interest Class<br>Maggie IBERS 0.31<br>Gosia – IBERS 0.32<br>Clare – B20 Llandinam<br>Paul - B22 Llandinam | Summertime Picnic and Games<br>Come & meet your friends and bring a picnic be creative, bring some picnic food traditional to your home or go Welsh with Welsh cakes & Lava bread! |
| Friday | Presentation skills & practice – *Speaking/Pronunciation focus*<br>Purple - Maggie – IBERS 0.31<br>Blue – Clare – B20 Llandinam<br>Red – Paul – B22 Llandinam<br>Green - Gosia – IBERS 0.32 | | Project presentations, Certificate Ceremony & Course End Event<br>Farewell to Friends<br>All classes | | Remember to write up about your experiences in your journal over the weekend to share in class on Monday. Make a note of any new English words phrases or strange habits to tell your classmates and teachers about Don't leave your English in the classroom!!!!! | Saturday Trip – Liverpool<br>Home of the Beatles!<br>Early start but you can catch up on your sleep on the bus! |

**Notes:**

# アベリスツイスサマースクール報告書

植田　悠太郎

「リテラシーを高めること」

「メディアリテラシーを持とう」とは昨今、言われ続けてきたことだ。リテラシーとは、読み書きする能力、応用力等、様々な意味を内包する単語であるが、今回はそのものが内包する意味を理解する能力とここでは定義し、書いていく。

まず、リテラシーが重要視される要因は、インターネットの普及によって社会全体の情報量が格段に増えたからと見て間違いない。この情報過多な社会において、リテラシーは最も重要な力だと言えよう。それを踏まえて書いていくのは、「ソーシャルリテラシー」についてだ。ここでは「ソーシャルリテラシー」とは社会を読み解き理解する能力とする。

今回、私はアベリスツイス大学へ２週間留学した。多くの学びを得た中で、最も重要であると感じた部分について書いていきたい。

それは、常識の差である。だが、ここで私が唱えたいのは、この問題はただの価値観の差ではなく生き方の差であるということである。

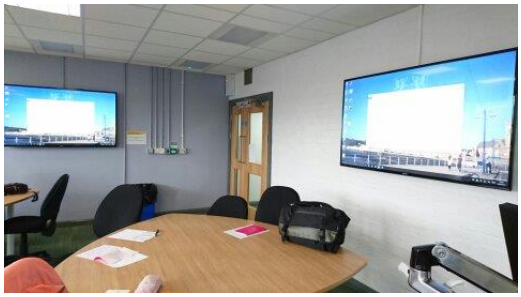
まず、私たちの多くは古い価値観に絞られて生きていることを自覚できていない。正社員になることやマイホームを持つことは当たり前、年上は尊ぶもの。こういった当たり前なことを疑っていれば異質な人間だと思われてもしかたない、と私は思っていた。

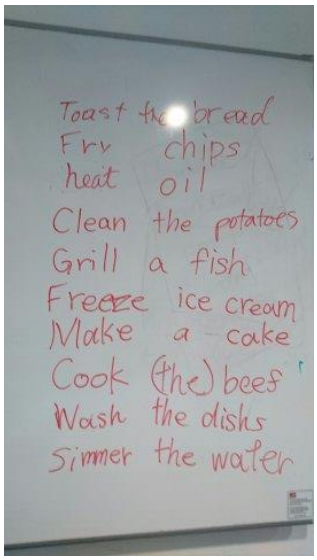
しかし、それは正しかった。私はイギリスに留学し、大学の先生と共に食事をする機会があった。その時に私が感じている違和感について話した。「たしかに私たちにとってもそれは当たり前だよね。でも一生アルバイトでも、マイホームがなくても、年上の人と対等に話してもいいよね」と、イギリスの先生は全面的に認めることもなく、否定することもなく、ただ、許容してくれた。

私はこれが生き方の差であると感じる。イギリスの人の多くは、強く協力することは少ないが、人と違っても見守る包容力がある。私はここの人たちのことがとても好きになった。

では私たち日本人はイギリス人よりも劣っているのだろうか。劣っているのである。人が開放的であり、自由であり、過干渉をしない。このような精神が私たちに求められているのではないだろうか。また、私が感じているのは人の心を変えることはとても難しいということだ。だが、少しずつでも変えていかなければいけない。

だから、「リテラシーを持つ」ことは私たちが変わるための最初の大きな一歩である。物事の本質を見る努力をする。たとえ本質が見えなくてもその努力によって、価値観はより良い方向に変わるはずだ。日本を、町を、自分を変えるためにはリテラシーを身につけなければならない。私がこの夏、アベリスツイスに留学し学んだのは英語やコミュニケーション力ではなかった。私が得たのは「私たちは、おかしい」という確信だった。




Toast the bread
Fry chips
heat oil
Clean the potatoes
Grill a fish
Freeze ice cream
Make a cake
Cook (the) beef
Wash the dishs
Simmer the water

# 平成２８年度
# アベリスツイス大学
# サマースクール
# 留学事業報告書

糸井萌里実

アベリスツイス大学サマースクール留学事業報告書

<参加プログラム>

平成 28 年度アベリスツイス大学サマースクール留学事業

English and Communication Skills Course

<参加期間>

2016 年 8 月 15 日～9 月 9 日

（CS4　2016 年 8 月 15 日～8 月 26 日

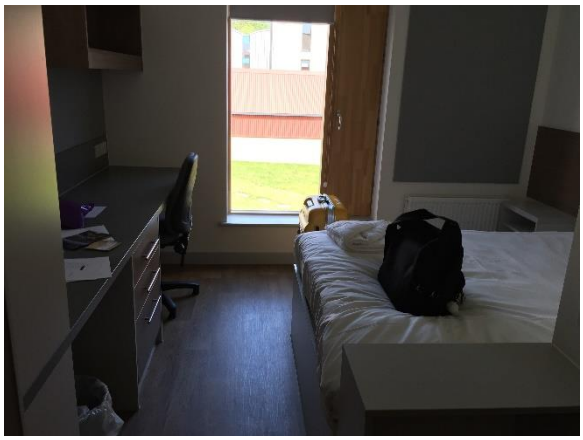
　CS5　2016 年 8 月 29 日～9 月 9 日）

<日程>

| 日付 | 行程 |
|---|---|
| 8 月 13 日(土) | 関西国際空港　→　ドバイ空港 |
| 8 月 14 日(日) | ドバイ空港　→　バーミンガム空港　バーミンガムにて一泊 |
| 8 月 15 日(月) | 鉄道でアベリスツイスへ　→　アベリスツイス大学（入寮） |
| 8 月 15 日(月)<br>～<br>9 月 9 日(金) | サマースクール（CS4 ＆ CS5 コース） |
| 9 月 10 日(土) | アベリスツイス大学　→　バーミンガム空港　→　ドバイ空港 |
| 9 月 11 日(日) | ドバイ空港　→　関西国際空港　→　与謝野町 |

<寮>

私たちは新しくできた寮に寝泊まりしました。しかし、大学から徒歩約 20 分。山頂にあったので行きは下り坂でも帰りはひたすら上り坂。一度まちへ出ると寮に帰りたくないと感じるほどの坂道でした。部屋にはクローゼット、ごみ箱、シングルベッド、勉強机、ユニットバス、洗面台が備わっていて、とても綺麗で使いやすかったです。コンセントも机の上、ベッドの横、棚の横などいろんなところに備わっていて便利だと思いました。階の中で３つほどフロアが分かれていて、１フロア８人でリビング・キッチン・冷蔵庫を共有するという形でした。私のフロアは、一人ロシア人であとは日本人でした。

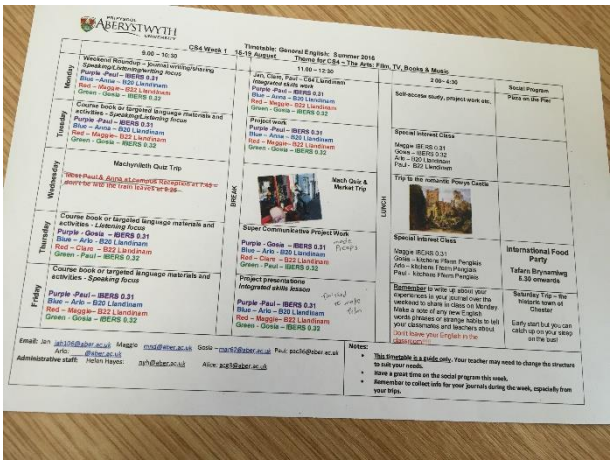


<生活>

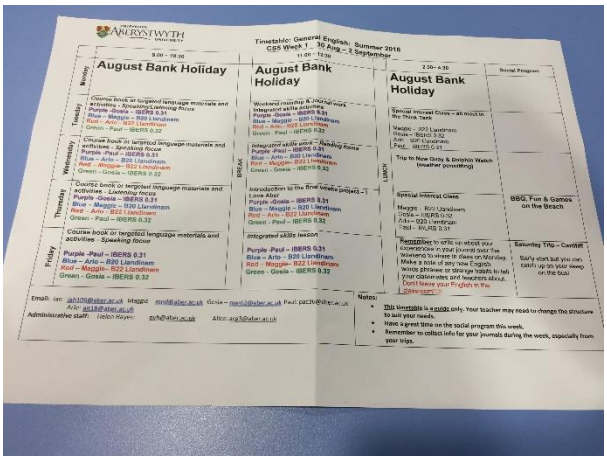
食事は、タメダという学食がありましたが私たちは午前の授業が終わるたびに寮に戻りご飯を作って食べてまた午後の授業に戻っていました。学食で食べるより安く上がると思います。食材は大学の近くにあった CK というスーパーマーケットで購入していました。即席ご飯などの日本食を持っていくのもいいと思いました。洗濯物は寮の近くに共有の洗濯場でしました。専用のカードを購入し、その１枚で４回ほど選択できました。天候は晴れの日はとてもあったかいけど雨の日が本当に寒いです。長袖を多めに持っていくことをお勧めします。

<授業>

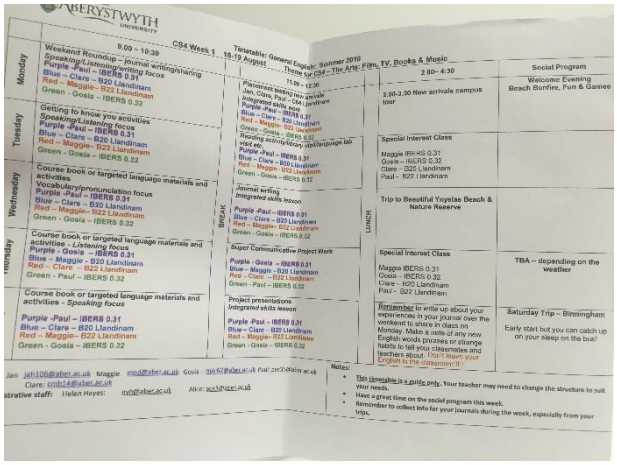
２週間目




３週間目




４週間目



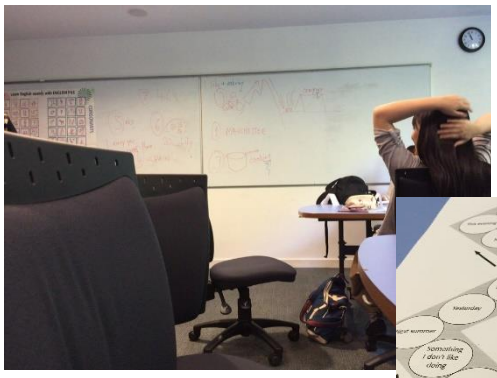

※１週間目は紙が配られませんでした。

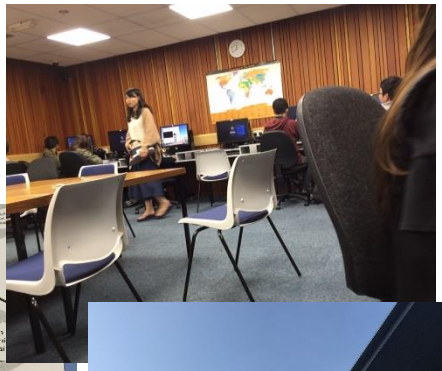
午前の授業は、IBER という建物で行われました。1 限目が 9 時から 10 時半まで、10 時半から 11 時までが休憩、2 限目が 11 時から 12 時半でした。４つのクラスに分けられて授業を受けました。私のクラスは、最初の２週間（CS4）はロシア人１人・中国人２人・日本人１３人で、最後の２週間（CS5）では、ロシア人１人・日本人１０人の少人数なクラスでした。私たちのクラスの担任はポールという陽気なスペイン人の先生でした。

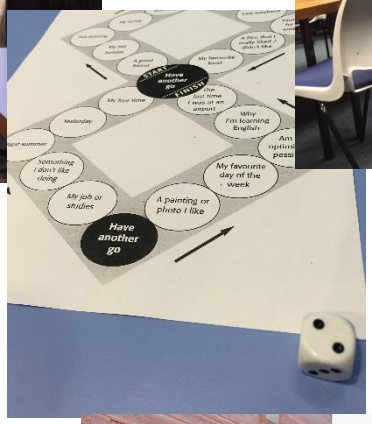
授業の内容は基本的に中学・高校文法。過去形・未来形・疑問詞・動詞の活用・三人称単数などを先生が準備していたプリントで学びました。もう履修済みとはいうものの、高校や中学で習ったものよりは専門的で実用的なのではないかと感じました。授業内では日本語・電子辞書を使うのは禁止。わからないところ、単語があれば先生に聞くという形で、先生が体を使ったりして分かりやすくその単語や文法のさらに実用的な使い方を教えてくれました。積極的に質問することでさらに知識が増え英語力の向上につながったのではないかと感じました。

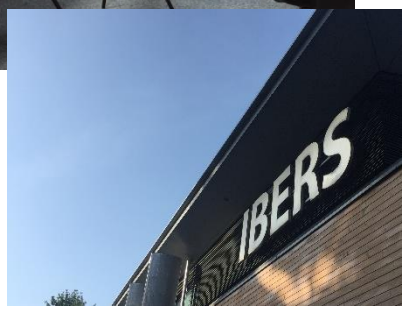
一つの文法が終わるたびにすごろくを使って止まったところに書いてある質問に答える、というゲームをしました。習ったことを復習するとともにその時その時、自分自身で文章を考えなければならないのでタメになったと思います。

また、パソコンルームを使っての授業もありました。習った単語を使って文章（この時はクラスの中で一人選んでその人の外見について特徴を書いたもの）を作ったものを実際に読んで録音してみんなに聞いてもらって誰のことを言っているのか当てるゲームをしたり、LとRの発音の授業でLとRがたくさん使われた単語の文章を読んで録音して自分で聞いてみてここはこうだなとか自分自身で間違いを見つけたりということをしました。







２週間目の水曜日には、Machynlleth(通称マーク)というマーケットがたくさんある町に出かけました。その場所について学ぶとともに先生からもらったクイズに答えるという活動をしました。例えば、このお店は何時に空きますか？とか、ここの名前は何？とか、中には町の人に聞かないとわからない問題もありました。いつも教室でやっている授業とは違って街の雰囲気を感じ取ったり、アベリスツイスの人の温かさを感じたりしてとても新鮮に感じました。

Machylleth にて

２週間目と４週間目の授業では、一つ上のクラスと合同で行われました。

２週間目は８人～１０人ほどのグループに分けられ、それぞれのグループに一つの７ページほどのショートストーリーを渡され、それを自分たちで段落ごとに要約して、３分ほどのショートムービーを撮るというものでした。自分たちで小道具を作り、構成もセリフも考えました。段落ごとに要約するのがとても難しくて勉強になりました。金曜日に Aberystwyth University Film Awards Summer 2016 と称し、生徒全員で集まり、他のクラスや他のグループが作った動画をみんなで見ました。私たちのグループは、「FUNNIEST FILM」という、一番おかしかったでしょう(いい意味で)に選ばれました。

４週間目は、７人～９人ほどのグループに分けられ I love ABER をテーマにムービーを撮るというものでした。内容はどんなものでもよくて、みんなで騒ぐもよし、スライドショーもよし、とにかくアベリスツイスが好き！と伝わるような動画を作るという活動でした。私たちのグループはアベリスツイスのまちに出かけて、楽しそうにはしゃぎながら観光している様子をムービーに撮りました。最後の週ということもあり、まだ話したことなかった人たちと仲を深めることができました。

Film Awards 2016

まち観光の時に行った
アベリスツイスを一望できる場所

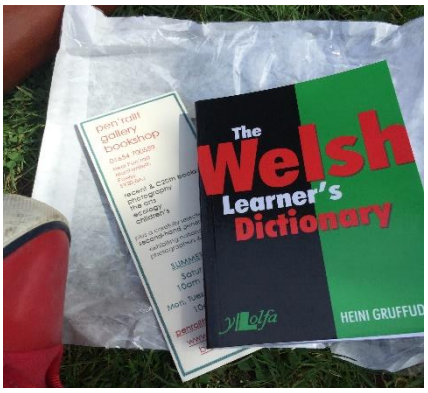
午後の授業は、１４時から１６時半までで火曜日と木曜日だけ行われました。Special Interest Class という４つの課題の中から自分が一番興味を持ったものを選びその授業を受けるというものでした。

１週間目は、ウェールズ料理を作るというのを選択しました。火曜日に必要な道具・材料をまとめ、買い物に出かけました。そして、木曜日に寮のキッチンで作りました。Walsh cake・Welsh rerebit・Laverbread・Glamorgan sausages の６品を作りました。Walsh cake は食べたことあったけど、他の３品は初めての味で日本に帰っても作ってみたいと思いました。

２週間目は全員共通の課題で、自分の国の伝統料理を作るというものでした。火曜日にグループ分けをされて、何を作るか考えました。私たちのグループは、天ぷらを作りました。そして、木曜日に買い出しに出かけて作り、その後に International Food Party をしました。日本人が多かったので日本食が多かったです（笑）ほかの国の料理は少なかったけど美味しかったです。

３週間目は DRAGON'S DEN というマーケティングの授業を選びました。DRAGON'S DEN という番組をもとに、３人一組になり自分たちで今この世界に何が必要なのか、それには何が必要でどのくらいお金がかかるのかというのを一から考え、先生たちにプレゼンテーションする授業でした。私たちは自動コーデイネートできるフアッションアプリを考えたのですが、こんなこと考えたこともなかったし、何かを作り上げる人のすごさを痛感しました。

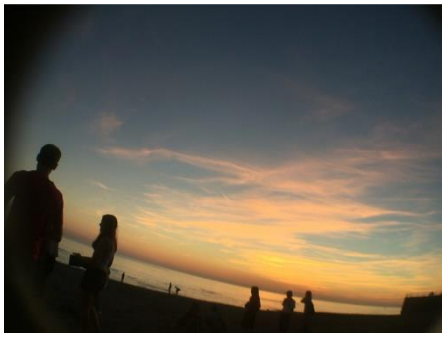
４週間目は、Stories, Songs and Culture of Wales というウェールズの歴史を学ぶ授業を選びました。火曜日はウェールズに関するクイズやウェールズに代々伝わる物語について学んだりしました。木曜日は、ウェールズ語を学びました。私はウェールズの文化について興味があったので楽しかったです。ウェールズ語を少し学んでみたいと思ったのでウェールズ語辞典を買いました。




<ウェンズデートリップとサタデートリップ、その他のイベント>

アベリスツイス大学の卒業生で、今はアベリスツイス大学で働いている Lizzie という女性が放課後にはまちに出かけてみんなが楽しめるようなイベントがあり、水曜日と土曜日にはアベリスツイスから少し離れたところに出かけて観光するというウェンズデートリップとサタデートリップというのがありました。

☆初日にやった焚火と焼きマシュマロ
シーサイドでやったので夕日がとても綺麗でした。



☆１週間目のサタデートリップ
　バーミンガム

☆２週間目の月曜の夜
ピザがおいしいと言われている
ビリヤードバー

☆２週間目のウェンズデートリップ

Powys Castle

仲良くなった九州女子のみんな

☆２週間目のサタデートリップ

チェスター、仲良くなった

ロシア人のマリアと３人で行動

☆３週間目のウェンズデートリップ

ニューキー

☆最後のサタデートリップ

カーディフ(ウェールズの首都)

☆最終週の月曜日の放課後

Shilam というインド料理屋さんにてランチ

<再会>

私は平成２６年度アベリスツイス交流高校生派遣事業に参加していたので、そのときの仲間に再会することができました。また、一緒に行っていた井上さんがその翌年受け入れをしていた方とも仲良くなることができました。議会議員のデイビスさんにも会うことができました。

ハンナ・メガン・ベサン

私がお世話になっていたヘイルウェン

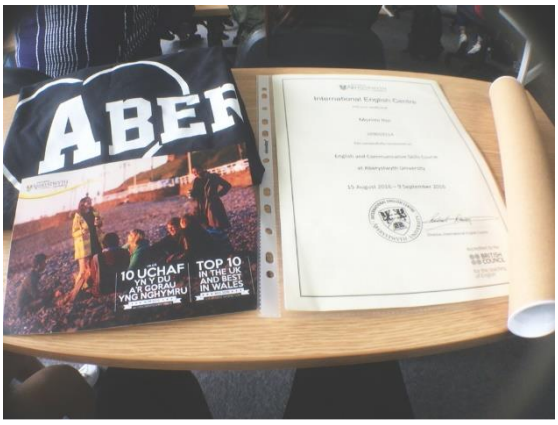
その彼氏さんライアン

井上さんがうけいれていたショーン
一緒に住んでいるジャック・アンディ

デイビスさん

<Certificate Leaving Ceremony>

他のクラスの人たちと合同で修了式が行われました。ここでは、最終週に I love ABER をテーマに作ったムービー、歌の発表、スピーチなどの鑑賞会がありました。修了式では担任の先生から修了証書・ポスター・ポストカード・オリジナル T シャツをうけとりました。




<参加して感じたこと、思ったこと>

私は２年前、高校生派遣事業に参加しその時に自分の英語力と知識のなさに失望しました。聞かれても何も答えられない、それに関しても知識がない。自信をもって英語を話せるようになって絶対またアベリスツイスに行ってやると決心しました。その翌年に大学との協定も結ばれて、そして今年私は自分の英語力を再確認するためにこのサマースクールに参加しました。前回訪れたときは、日本人は与謝野町の人たちだけ。しかし今回は他大学も一緒ということで日本人がたくさんいて、外国人が少なくて。たくさん日本語が飛び交っている中で、自分から外国人に話しかける積極性がとても大事だと感じました。前回訪れたときは、自分の英語力に自信がなくて頭ではこうかなって思っても口に出せない、間違っていたらどうしようという恐怖心がありま

した。でもこの恐怖心がなくなればいいのではないか？と思い、文法おかしくても伝える努力はしてみようと思って、話してみたらしっかり目見て聞いてくれて間違っているところは教えてくれて、自分の英語力はまだまだだったかもしれないけど違う面では成長できたのではないかと思いました。いまだに夢はないの？と聞かれても答えられなくて、でも帰ってきてから少しやってみたいことが見えてきたのでいつかまたみんなに会ったときに、答えられたらいいなと思っています。

３週間目の月曜日はバンクホリデーでみんな出かけて一人だったので、本当はお墓に行きたかったけど少し遠かったので一人で桜の木を探しにまちへ出かけました。桜の木を前にして思ったことは、アベリスツイスと与謝野町の関係について、フランク・エバンス氏が残した平和に対する思いをどれだけの人が知っているかということ。２度と再び戦火が起こらないようにというエバンスさんの思いから、平和な世界を実現するためにふたつの町が交流を持ちその交流が今でも続いています。私はこの交流を通じて、平和の尊さ、戦争は２度とあってはならないことだということを再認識しました。その思いを思うだけではなくて、伝えていかなきゃいけない、これからもこの交流を次の世代にも受け継がせなければならないと強く感じました。他大学の人に、どこから来たの？と聞かれたときに、町の留学制度で来たよと言うと、興味を持ってくれたので交流関係について話すと、これからもずっと続いたらいいねと言ってくれました。他県の人にも知ってもらえてうれしかったです。与謝野町とアベリスツイスとの交流がずっと続きますように、無残に命を失うことのないように、平和が続きますようにと心の中で唱えながら私は桜の木の前で手をあわせました。

今回も貴重な経験をさせていただきました。行きたいと言ったときに快く了承してくれた両親へ、ありがとう。１か月間過ごした仲間たち、先生方、関わってくださった方々、すべての出会いに感謝します。ありがとうございました。アベリスツイス大好きなのでぜひまた訪れたいです。

Diolch!

# 平成 28 年度　サマースクール報告書

井上　聖羅

参加プログラム：アベリストウイス大学サマースクール事業報告書

参加期間：2016 年 8 月 15 日(月)～9 月 9 日(金)

[授業]

１限９：００～１０：３０、２限１１：００～１２：３０

ランチタイムをはさみ、お昼からの授業は１４：００～規定なし

午前中は文法を学ぶ本格的な授業です。

プリントの問題に答えた後、皆で答え合わせをしたり、前日に学んだ語句を用いたゲームをしたりします。中学生で習った簡単な文法(未来：will・be going to)の違いなどを学びました。

月曜日から木曜日はお昼からも授業がありましたが、金曜日のお昼からはフリーです。

お昼からの授業内容は毎週異なり、自分で何をしたいか選ぶことができます。例えば、マーケティングの授業やウェールズの伝統料理を作る授業、町の探索をする授業などがあります。

マーケティングの授業では、人が求めていることを考えて、ものを提案する力を求められました。私は、仕事をしておられる中国人の方と日本人大学生の方と同じグループになりました。この授業はとても考えさせられるものがたくさんありました。それはもちろん自分自身の英語力に加え、考える力です。二人とも柔軟な発想で、私は正直ついていくことができませんでした。もっと自分も考える力を養いたいと思える瞬間でした。

校外授業では、お城に行ったりします。歴史に触れることができる良い経験となりました。

[土曜日]

毎週サタデートリップというのがあり、自由参加です。私はバーミンガム、チェスター、カーディフに行きました。どれも現地に着いてからは、自由行動です。マーケットに行ったり、洋服などのショッピングをしたり、お城を見たりしました。

[日曜日]

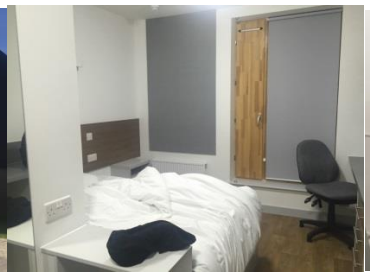
日曜日は１日フリーです。私は現地の友人と遊んだり、ロンドンに行ったり、街に出かけたりしました。

[食事]

食事は朝・昼・夜全て自炊です。朝は、シリアルとヨーグルトを食べていました。お昼と夜は、持ってきていた日本食を食べていました。大学付近にある fish and chips はとても量が多いものの美味しかったです。私は日本からお米やおうどんなどを持って行きましたが、調味料を持っておっておらず後悔しました。日本の調味料を手に入れるのは中々難しいので調味料は持っていくべきだと思います。

[寮]

寮はとても綺麗な建物です。オートロックも付いていたので安全だと感じました。キッチン、テレビ、冷蔵庫は同じフロア８人で共同です。ひとり一部屋で各部屋にトイレ、シャワー、洗面が付いており誰にも気をつかわなくても良い環境で生活することができました。



[洗濯]

自分たちでランドリールームに行き洗濯をします。最低１０ポンドからカードを購入します。洗濯機はとても大きいので二人で一つを使っていました。一回あたり２．３０ポンドくらいです。

[留学を終えて]

私は初めてアベリスツイスに行きました。いつも一緒にいた糸井さんとは今回の留学を通して初めて知り合いましたが、とても仲良くしてもらい二人で助け合いながら１ヶ月過ごすことができました。

まず私たちは、関西国際空港で機内トラブルがあり、予定していた日にちには出国することができませんでした。急遽空港で一泊し、予定から１日以上遅れて日本を出国しました。初盤からこんなことがあり不安でしたが二人で協力してドバイで乗り継ぎ、何とかアベリスツイスに到着することができました。

寮には想像以上に日本人がいて正直嫌でした。授業中も日本人同士で日本語を話していたりしたので不快な気持ちになりました。日々の生活の中では英語力を向上させることが難しい環境でした。しかし、同じフロアになった日本人の大学生とは料理を作ってもらったりして仲良くできました。

私はこの経験を通して、自分自身について考えるようになりました。初めて話す人との会話でよくある質問として、趣味は何？と聞かれてもうまく答えられず話を続けることができませんでした。私は趣味がないし、日本の歴史もあまり知らないなということを知り、自分を見つめるきっかけとなりました。また、会話をしている中で知識というものが私には欠けているとも感じました。日本人として母国のことを知っていることができていないと思いました。自分を見つめ直すきっかけとなった留学だったと感じました。

２０１６年アベリスツイス大学サマースクール留学事業研修報告書
平成２８年１１月発行
編集発行　京都府与謝郡与謝野町字岩滝１７９８番地１
与謝野町企画財政課
電話：0772-43-9015
（表紙：CS3 集合写真）

PRIFYSGOL
ABERYSTWYTH
UNIVERSITY
Reception